

安佐医師会サーベイランス週報 第14週 平成30年4月2日(月)～平成30年4月8日(日)

地区	祇園	安古市	沼田	佐東	可部	高陽	安佐	白木	安佐市民病院	合計	傾向	コメント	
定点医療機関数	4	5	2	2	4	5	2	1	1	26			
対象人口	75,115名	83,974名	38,432名	43,294名	57,093名	63,914名	19,542名	8,518名		389,882名			
定点数当り人口	18,779名	16,795名	19,216名	21,647名	14,273名	12,783名	9,771名	8,518名					
1 R S ウィルス 感染症						2					2	↓	<p>【第14週安佐圏域での各種感染症の動向】</p> <p>★安佐地区：感染性胃腸炎増加！                      ロタ、ヒトメタニューモが多い</p> <p>1. RSウイルス感染症：3→2件                      3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：18→21件                      4. 感染性胃腸炎：138→187件                      ロタ3・・・Yこどもクリニック（7件検査中）                      ロタ2、ノロ1・・・K医院（11件検査中）                      ロタ1・・・Dクリニック（9件検査中）                      12. インフルエンザ：A型 31→27件 B型 13→11件                      22. その他：ヒトメタ3・・・K医院</p> <p>&lt;安佐地区感染性胃腸炎の推移&gt;</p> <p>・感染性胃腸炎は増加！例年に比し最も多い                      ロタ感染症が多いのか？</p> <p>【広島市7基幹定点からの報告数の推移】 グラフ転用</p> <p>・全国の地方衛生研からの報告数は大変少ないのに比し                      広島市基幹定点からの報告数はかなり多い</p> <p>【ロタウイルス感染症がここ数年に比べ目立つ！】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・・・Yこどもクリニックより</li> <li>・ワクチンが未承認のためできなかった5、6歳児が多い</li> <li>・ワクチン接種者で感染した数名は全員が1価ワクチン使用例。</li> <li>ただ未接種の患者に比し症状は軽い（5価ワクチン接種者の発症者はいない）</li> </ul> <p>補足）市の集計でも、5～9歳の割合が例年の2倍になっています</p> <p>【全国の地方衛生研からの検出の報告数】</p> <p>・・・グラフ転用</p> <p>・全国衛生研からの報告は、例年に比し明らかに少ない（赤線）</p>
2 咽頭結膜熱	1										1	→	
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	4			3	12					21	↑	
4 感染性胃腸炎	70	20	19	6	22	39	5	5	1		187	↑	
5 水痘	1					1					2	↑	
6 手足口病													
7 伝染性紅斑		1									1	↑	
8 突発性発しん	1	1				2					4	↑	
9 百日せき													
10 ヘルパンギーナ													
11 流行性耳下腺炎	4										4	→	
12-Aインフルエンザ（A型）	6	6	5		7	2	1				27	↓	
12-Bインフルエンザ（B型）	1	3	2		4	1					11	↓	
13 急性出血性結膜炎													
14 流行性角結膜炎		2				1					3	→	
15 麻疹													
16 風疹													
17 MCL S（川崎病）													
18 髄膜炎（細菌性）													
19 髄膜炎（無菌性）													
20 マイコプラズマ肺炎													
21 クラミジア肺炎													
22 その他					3						3	↓	
合計	86	37	26	6	42	57	6	5	1	266			

全医師届出義務の感染症（保健センター）

全会員に即情報  
保健センターへの届出用紙有り

一言“イトコール” 安佐医師会 873-1840にも連絡を頂けると助かります！

【急性ウイルス性肝炎、ベロ毒素産生腸管感染症（O157、26、など）、麻疹、風疹、つつが虫病、結核、オウム病、レジオネラ症、アメーバ赤痢、梅毒、AIDS・・・】

補足）市の集計でも、5～9歳の割合が例年の2倍になっています

【全国の地方衛生研からの検出の報告数】  
・・・グラフ転用

・全国衛生研からの報告は、例年に比し明らかに少ない（赤線）